

日付:2015年3月29日／聖書:ルカによる福音書23:32～43

主題:「十字架のイエス」

イエスは、十字架上で「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです」と語っておられる。この言葉は執り成しの祈りである。イエスを裁いたピラトに対しても、民衆を扇動して「十字架につけろ」と叫び続けた祭司長、律法学者に対しても、イエスを裏切った弟子たちにも、イエスは十字架上で執り成しの祈りを捧げてくださいている。勿論、私たちの弱い信仰に対しても、罪深い私たちの弱さに対しても、・・・である。

イエスの十字架の左右には、犯罪者が同時に十字架につけられた。イエスをはさんで十字架上の三人の語りかけが記されている。イエスは最後に「あなたは今日私と一緒に楽園にいる」と語られた。ここは、一人はイエスをののしった悪い奴。もう一人は、イエスを神として仰ぐ良い奴。一人は地獄へ、一人は天国へ。死ぬまぎわにイエスに出会いキリストを告白して救われる・・・というふうに、このところを読んできたかと思う。勿論、そういう受け取り方もあるだろうが。ただイエスの「私と一緒に楽園にいる」という言葉は、右と左にいる双方が聞いたのである。この言葉は二人の犯罪人に語られたと理解する時、この犯罪人の言葉は、私たちの内にもある言葉として、返ってくるように思う。私たちの内にも、自分が思いがけない不幸に陥る時、「神様どうしてですか、神はいるのか、いや神などいない、神がいるならこのようなことが起こるわけがない・・・」私たちは思いがけない不幸に遭遇するとそういう弱さが多少なりとも出て来るもの。また私たちは、神を高らかに賛美し、神からの奉仕を苦ともせず主の働きを担うこともあるだろう。私たちには、あの十字架上の犯罪人の双方の言葉を持ち合わせる者である。そういう弱さと強さを併せ持つこの私たちにも、イエスは「あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」と言っただけしているのである。

最後に、「今日わたし」という言葉には、原語的に見れば、実は「すでに」という言葉も含まれている。「あなたは今日(すでに)わたしと一緒に楽園にいる」という意味も含んでいるということ。十字架に磔にされている最も苦しみの中にいるのに「すでに」とは有り得ないことだが。

十字架という最も苦しみの中にある・・・しかし、その私のそばにイエスも同じ十字架を担って、私と同じ苦しみの中にある・・・ということ。私が病に伏す時、最も苦難の中にある時、キリストもまた、私と同じ病に伏し、苦難の中に一緒に居てくださる。そのことに気づかされる時に、すでに私たちはキリストと共に「楽園(神の国)」にいるということになる。(神谷)